

法文化学会第 24 回研究大会

2023 年 1 月 17 日

第 24 回研究大会は、2023 年 2 月 4 日に開催します。開催は、WebEx を利用したオンライン開催とします。URL は、基本的には(1)の URL を利用します。(2)は、(1)に不具合が生じたときに利用します。

(メイン) <https://chuo-u.webex.com/chuo-u/j.php?MTID=m8a4f2a20c0c79177752efd0139eba65c>

(サブ) <https://chuo-u.webex.com/chuo-u/j.php?MTID=m3798317aec426946fdb73d17525c9248>

報告のサマリー、総会資料は、下記の URL から取得できます。

https://drive.google.com/drive/folders/1KxKNdt8JV66KU1akSdlpUmjPJQeCQx7r?usp=share_link

〈自由報告〉

10:00 18 世紀ドイツにおける軍法学—ケーニヒスベルク大学の状況を中心に—

北谷昌大（一橋大学大学院）

〈海の法文化と陸の法文化〉

11:00 趣旨説明

森 光（中央大学）

11:20 基調講演 海洋災害と文化財保護法制

久末弥生（大阪公立大学）

12:30 〈総会〉

13:00 〈第 1 部 「陸」と「海」の文化遺産の相剋〉

第 1 報告 海洋における文化財保護法と水中文化遺産の保護についての提言

石原渉（文学博士）

第 2 報告 サンホセ号発見をめぐる積荷などに関する国際協定—コロンビアとスペインの二国間協定の着眼点と実効性

中田達也（神戸大学）

第 3 報告 中国の「改正水下文物保護管理条例」と日本への示唆

白亜寧（中国温州大学）

第 4 報告 世界遺産と水中文化遺産—両者の規範的相互関係を中心に—

久保庭 慧（文教大学）

第 1 部質疑応答

15:30 〈第 2 部 海洋管理における地域伝統と西洋法観念との相剋〉

第 5 報告 ニュージーランドの海洋管理におけるマオリ慣習的概念の導入と課題 『カイトィアキタンガ(kaitiakitanga)』の解釈をめぐる変遷を中心に

玉井昇（獨協大学）

第6報告 漁業資源管理における国際的ガイドラインと太平洋島嶼国における伝統的管理制度の相克・調和—パラオにおける漁業資源管理を素材として—

吉原司（姫路獨協大学）

第2部質疑応答

17:00 第3部 〈国際的海洋管理の最前線〉

第7報告 国連気候変動枠組条約における海洋—主流化に向けた動き—

藤井麻衣（笹川平和財団海洋政策研究所）

第8報告 「30 by 30」目標に向けた日本の海洋生物多様性の保護・保全制度における課題

青木望美（中央大学）

第3部質疑応答

18:30 終了予定